

令和3年度第3回地域医療構想調整会議結果概要について

資料3

| | 横浜 | 川崎 | 相模原 | 三浦半島 | 湘南東部 | 湘南西部 | 県央 | 県西 |
|---|---|----|-----|---------|------|------|---------|----|
| 共通議題（報告のみ） | R4.2.7（月）19時～ 開催方法： ハイブリッド形式 | 書面 | 書面 | 書面 | 書面 | 書面 | 書面 | 書面 |
| 1 地域医療構想をめぐる国の検討状況等について | <p>【主な意見】 ○新興感染症等対応に関する検討については、検査・ワクチン接種等の対応と医療提供体制等の検討が整合性をもって行われるようお願いしたい。（川崎） ○医師の働き方改革は、時間外の救急医療に多大な影響があるため、事前に各医療機関へのアンケート調査や救急医療体制についての検討等が必要である。（川崎） ○今後はICTを活用した医療・介護の連携強化のための環境整備や、在宅療養支援体制の充実を図る促進策などさらなる国・県による支援の検討が必要である。（相模原） ○病床数の必要量の算定にあたっては、新型コロナウイルス感染症における地域医療の対応状況の検証を行い、新興感染症等の影響や今後の高齢化の進展を見据えた推計方法とするとともに、必要な病床機能について地域の実情を踏まえて選択できるような工夫が必要である。（相模原） ○今後も地域医療構想を三浦半島で成功させるために、三浦半島地区の特性も考慮し、現場の意見にも配慮していく必要があると考える。地域医療構想と地域福祉や介護障害分野との連携も必要である（三浦半島） ○推進会議は、圏域における保健、医療、福祉に係る重要事項を協議することを目的とする会だが、病床転換の協議や外来医療機能に関する協議など推進会議に全てを委ねることなく、県が明確な方針を示し、地域でのWG等を十分活用できる体制を整えていただきたい。（県央） ○第8次医療計画に盛り込まれる「新興感染症対応」に示されている「感染拡大時に活用しやすい病床や転用しやすいスペースの整備」はどのような病床を指しているのかが不明。地域医療構想の基本的な枠組みは維持しつつとするならば、新興感染症対応のどの役割の病床を、どの区分の病床に当てるのかをある程度明確にした方がいいと思う。その辺りのデータも示していただけるとありがたい。（県央）</p> | | | | | | | |
| 地域の個別議題 | | | | | | | | |
| 2 【横浜、三浦半島】 令和3年度病床整備事前協議について【非公開】 | 事務局案を了承 | | | 事務局案を了承 | | | | |
| 3 【横浜】 令和4年度病床整備事前協議の実施に向けた検討について | 事務局案を了承 | | | | | | | |
| | <p>【主な意見】 ○急性期病床の実態把握により議論がより深まるのではないかと。病床を増やすことは人材の確保を伴うため、そういった視点も含めた客観的な資料整備をお願いしたい。</p> | | | | | | | |
| 4 【横浜】 「2025年に向けた対応方針」の更新について | 事務局案を了承 | | | | | | | |
| | <p>○特に意見なし</p> | | | | | | | |
| 5 【県央】 ・県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査の変更（案）について ・高齢者施設調査について | | | | | | | 事務局案を了承 | |
| | <p>【主な意見】 ○現在、新型コロナウイルス感染症の施設でのクラスター発生の対応に関して医師会として検討をしているが、この施設調査で、協力医など施設の状況が分かり参考になる。 ○データをもとに海老名市、海老名市内の高齢者施設、救急告示の3病院で話し合いを持つことができた。継続的に話し合いを続け信頼関係を醸成した上で協力できる場所を模索したいと考える。</p> | | | | | | | |